

義務教育学校開校準備 便り

大きな翼

呉市立天応小学校
呉市立天応中学校



令和3年7月7日 発行

新しい景色を共に！！

令和5年4月天応地区に新しく呉市初の学校が開校します。

この学校は、義務教育の9年間を見通し、小学校と中学校が一体的な教育を行う義務教育学校です。また、この新たな学校は、天応大浜の天応小敷地に整備され、平成30年7月豪雨で大きな被害を受けた天応地区の復興のシンボルとしても位置付けられるものです。

この新たな学校の開校準備を円滑に推進するため、6月30日（水）に開校準備委員会の初会合が開かれました。

この開校準備委員会は、地域住民の代表、保護者の代表、学校関係者の代表15名で構成され、校名、校歌、校章などを検討し、決定事項を呉市教育委員会へ答申するものです。

第1回の会合では、委員長、副委員長を選出し、校名等の選出方法について協議しました。

今後、6回の開校準備委員会を開催し、開校に向けた必要事項を検討していく予定です。

このお便りでは、こうした開校準備委員会の動きや、小学校・中学校の取組状況などをお伝えします。

これが、新たな学校づくりの様子や目指す姿などを共有し、新しい景色を共に見る、つくる機運を高めることにつながれば幸いです。



新設工事着工は10月頃

令和3年6月下旬、新しい学校の施設工事の入札が行われ、今後、既存校舎の改修及び体育館等の新設工事が、着工される見込みです。

新築校舎の着工は、10月頃だと伺っています。

新しい学校で実現したい姿

新しい学校で実現したい姿に向け、天応小学校と天応中学校では、次のように教育を推進しています。

ビジョン（使命の追究を通じて実現しようとする学園の将来像）

豊かに学び ともに「未来図」をかける場 描ける・架ける・翔る

① こんな子供に

小学生は日々「めあて」をもち、様々な出会いから学び、自他の幸せのために、できること、やれることを増やしていく。中学生は未来社会の中で果たしたい役割を見いだす。その「未来図」に向け、日々より善い自分の姿を心に描くとともに資質・能力の高まりを感じながら成長する。

② こんな教職員に

学校は共に生きることを学ぶ場。私たちは、様々な対話から豊かな学びを育む環境を整え、生きる意欲を育む場づくりを行う。特に、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む使命を果たすため、教科等の本質をとらえた授業を行う。

③ こんな保護者・地域に

保護者は、子供達が仲間とともに賢く・優しく・たくましく育っていくよう、地域とともに、励まし・支え・見守っていく。そうした子供達の未来の可能性に携わることをとおして、親として成長していく。私達（教職員、保護者・地域）は、子供達それぞれの育ちに関わる自らの役割を全うすることをとおして、天応で育つ子供達を大きな翼で包んでいく。

そして、自ら学び続ける姿が集い、ともに実現したい「未来図」へ迫っていく。